

資料2 宮城県の将来の推計人口

宮城県将来の市区町村別人口

市区町村	総人口（人）						
	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
宮城県	2,360,218	2,333,751	2,290,994	2,231,359	2,157,538	2,073,706	1,982,347
仙台市	1,025,098	1,033,034	1,031,989	1,022,237	1,003,363	976,636	944,331
石巻市	167,324	159,086	150,899	141,739	132,047	122,305	112,806
塩竈市	59,357	56,897	54,275	51,201	47,858	44,431	41,025
気仙沼市	66,423	62,234	57,937	53,229	48,436	43,732	39,298
白石市	39,492	37,934	36,218	34,328	32,369	30,394	28,378
名取市	68,662	69,304	69,211	68,470	67,147	65,420	63,435
角田市	33,199	31,897	30,557	29,063	27,510	25,924	24,255
多賀城市	62,745	63,479	63,722	63,399	62,497	61,152	59,558
岩沼市	43,921	45,312	46,182	46,705	46,883	46,776	46,421
登米市	89,316	84,198	79,137	73,871	68,732	63,843	58,892
栗原市	80,248	75,112	69,920	64,477	59,161	54,179	49,350
東松島市	43,235	42,778	42,032	40,960	39,604	38,076	36,436
大崎市	138,491	135,802	131,914	127,187	122,023	116,667	110,921
蔵王町	13,318	12,966	12,512	11,977	11,404	10,829	10,233
七ヶ宿町	1,871	1,698	1,533	1,372	1,233	1,118	1,020
大河原町	23,335	23,622	23,681	23,537	23,227	22,805	22,287
村田町	12,740	12,242	11,715	11,135	10,537	9,928	9,293
柴田町	39,809	39,673	39,230	38,563	37,578	36,310	34,872
川崎町	10,583	10,249	9,851	9,406	8,933	8,444	7,911
丸森町	16,792	15,730	14,661	13,580	12,530	11,544	10,596
亘理町	35,132	35,034	34,578	33,830	32,850	31,693	30,343
山元町	17,713	16,865	15,966	14,989	13,956	12,899	11,832
松島町	16,193	15,311	14,414	13,422	12,378	11,339	10,331
七ヶ浜町	21,068	20,814	20,383	19,776	19,013	18,153	17,232
利府町	32,257	33,972	34,960	35,584	35,888	35,896	35,639
大和町	24,509	24,338	23,968	23,442	22,820	22,151	21,379
大郷町	9,424	9,012	8,578	8,125	7,663	7,190	6,702
富谷町	41,593	45,979	48,932	51,294	53,034	54,323	55,213
大衡村	5,607	5,249	4,945	4,630	4,308	3,991	3,668
色麻町	7,856	7,490	7,130	6,744	6,355	5,982	5,592
加美町	27,212	25,869	24,456	22,946	21,455	20,044	18,638
涌谷町	18,410	17,421	16,431	15,349	14,235	13,143	12,046
美里町	26,329	25,066	23,726	22,279	20,785	19,290	17,770
女川町	10,723	9,720	8,833	7,940	7,083	6,286	5,580
本吉町	11,588	10,991	10,357	9,684	8,993	8,332	7,691
南三陸町	18,645	17,375	16,161	14,889	13,650	12,482	11,370

国立社会保障・人口問題研究所『都道府県別将来推計人口』

平成17年度国勢調査をふまえ、5歳以上の年齢階級の推計にはコーホート要因法が用いられた推計である。

資料2 宮城県の将来推計人口

宮城県将来の市区町村別年少（0～14歳）人口割合

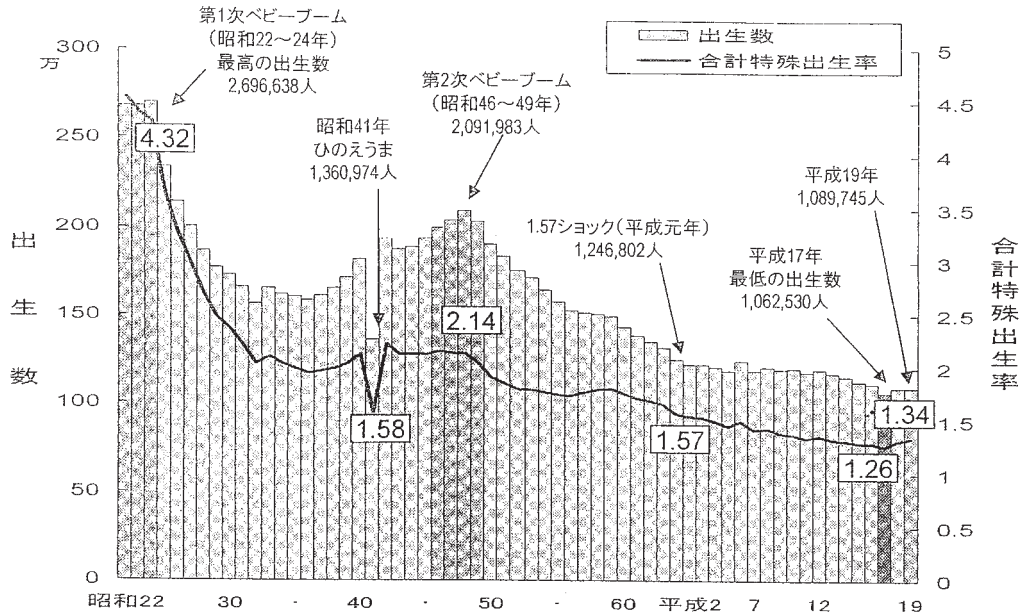
地域	年少人口割合(%)		
	2000年	2015年	2030年
宮城県	15.0	13.4	11.9
仙台市	14.6	13.5	11.8
石巻市	15.2	14.5	13.3
塩竈市	14.2	11.8	10.0
古川市	17.0	15.7	14.3
気仙沼市	14.6	12.7	10.9
白石市	14.3	11.5	9.8
名取市	17.5	15.6	13.3
角田市	14.5	11.8	10.4
多賀城市	16.3	15.3	12.6
岩沼市	15.9	14.3	12.5
蔵王町	15.5	12.9	11.8
七ヶ宿町	11.6	11.1	10.6
大河原町	15.6	14.6	11.9
村田町	15.5	13.2	12.1
柴田町	14.8	12.6	11.6
川崎町	15.2	12.3	11.2
丸森町	13.2	10.3	9.4
亘理町	15.5	12.9	11.3
山元町	13.1	10.4	9.3
松島町	13.0	11.1	10.0
七ヶ浜町	17.3	13.9	12.0
利府町	20.3	15.3	13.3
大和町	17.1	15.6	13.0
大郷町	13.5	12.2	11.9
富谷町	18.8	16.8	14.7
大衡村	16.4	14.0	12.1
中新田町	14.9	12.2	10.1
小野田町	13.6	10.3	8.8
宮崎町	13.8	9.1	8.2
色麻町	14.2	11.7	10.8
松山町	14.7	12.0	10.8
三本木町	14.1	11.8	11.1
鹿島台町	13.9	12.4	10.7
岩出山町	12.3	9.2	9.3
鳴子町	12.5	8.8	8.0

地域	年少人口割合(%)		
	2000年	2015年	2030年
涌谷町	13.7	10.8	9.7
田尻町	13.7	11.8	11.0
小牛田町	13.8	12.0	10.6
南郷町	13.2	11.2	10.7
築館町	13.2	11.6	10.6
若柳町	13.4	11.3	10.7
栗駒町	13.6	10.7	10.3
高清水町	14.4	11.8	10.6
一迫町	12.6	9.6	9.5
瀬峰町	13.8	12.6	12.2
鶯沢町	14.2	12.3	11.8
金成町	14.0	11.1	10.5
志波姫町	14.2	11.3	10.6
花山村	11.0	9.5	9.6
迫町	16.2	14.9	14.0
登米町	14.0	11.6	10.9
東和町	13.1	9.9	9.5
中田町	15.5	13.1	11.2
豊里町	14.7	12.0	10.5
米山町	14.1	11.4	10.9
石越町	13.9	11.6	11.2
南方町	15.4	12.9	11.9
河北町	14.3	11.1	10.3
矢本町	16.8	15.0	12.4
雄勝町	14.3	8.7	7.5
河南町	14.0	11.1	10.0
桃生町	14.0	11.3	9.8
鳴瀬町	14.7	12.5	11.0
北上町	14.2	11.1	9.7
女川町	13.0	11.1	9.8
牡鹿町	11.8	8.3	7.9
志津川町	15.6	14.0	12.7
津山町	14.8	11.0	9.9
本吉町	14.7	12.0	10.7
唐桑町	14.2	11.4	9.7
歌津町	16.6	12.6	10.2

国立社会保障・人口問題研究所『都道府県別将来推計人口』
平成17年国勢調査をふまえ、5歳以上の年齢階級の推計にはコーホート要因法が用いられた推計である。

少子化の進行

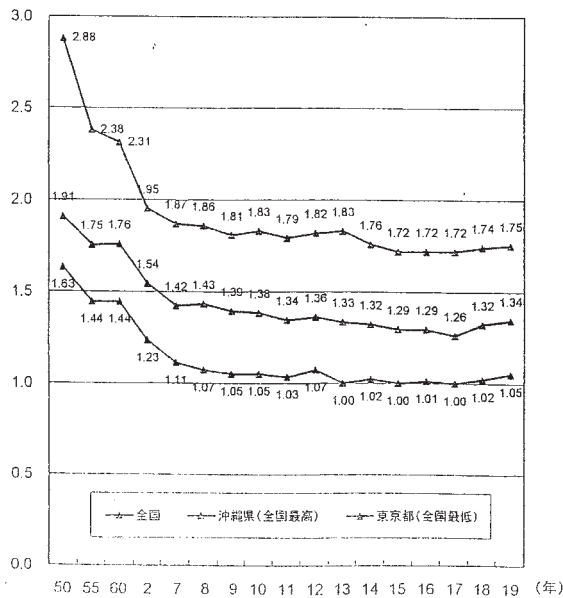
○ 我が国において急速に少子化が進行。合計特殊出生率は、平成17年に1.26と過去最低を更新、18年、19年は前年を上回っている。出生数は、17年が過去最低、18年に増加、19年は再び減少。



資料：厚生労働省「人口動態統計」

都道府県別の合計特殊出生率

○ 全国平均と最高(沖縄県)、最低(東京都)の推移



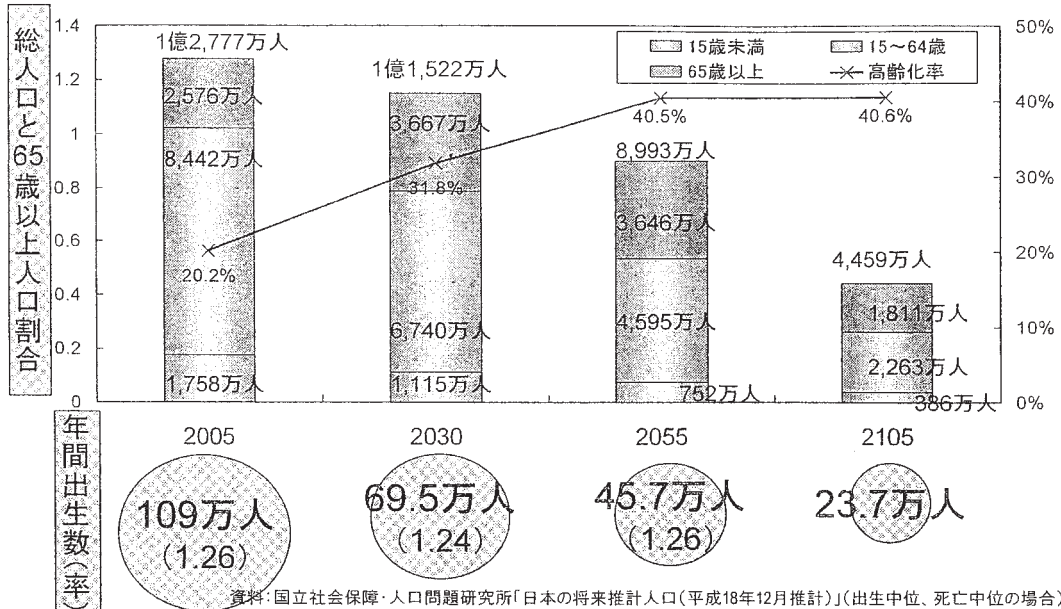
資料：平成19年人口動態統計(確定数)の概況 等

○ 平成19年の都道府県別の合計特殊出生率

沖 縄	1.75	新 潟	1.37
宮 崎	1.59	三 重	1.36
熊 本	1.54	群 馬	1.35
鹿 児 島	1.53	茨 城	1.34
島 根	1.52	山 梨	1.34
福 井	1.51	富 山	1.31
佐 賀	1.49	岐 阜	1.30
福 島	1.48	和 歌	1.28
香 川	1.47	福 岡	1.27
長 崎	1.47	秋 田	1.26
大 分	1.44	高 知	1.25
静 岡	1.43	兵 庫	1.24
山 形	1.42	徳 島	1.22
滋 賀	1.41	青 森	1.19
山 口	1.40	宮 城	1.18
岡 山	1.39	埼 玉	1.18
石 川	1.39	千 葉	1.18
愛 媛	1.38	神 奈 川	1.18
岩 手	1.38	大 阪	1.18
振 興	1.38	奈 良	1.18
愛 知	1.38	北 海 道	1.18
		京 都	1.18
		東 京	1.05

日本の将来推計人口(平成18年12月推計)

- 我が国の合計特殊出生率は、2005年に1.26と過去最低を更新。人口減少が始まった。
- 新人口推計(中位)によれば、2055年に産まれる子ども数は現在の約4割、高齢化率は現在の2倍(40.5%)、生産年齢人口(15～64歳)も現在の2分の1近くに急激に減少する。

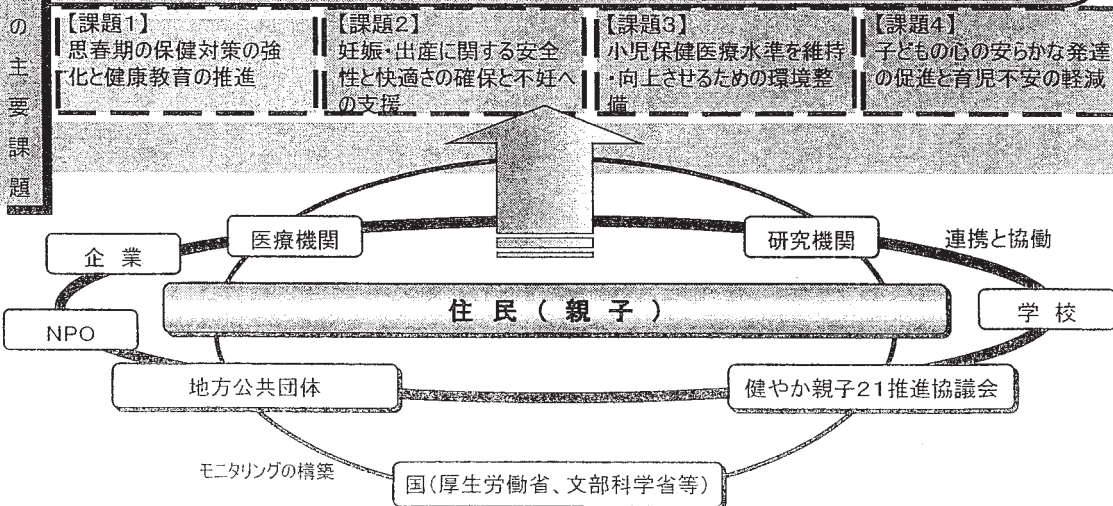


「健やか親子21」について

- 関係者が一体となって推進する母子保健の国民運動
- 21世紀の母子保健の取組の方向性と目標や指標
- 平成13年から開始

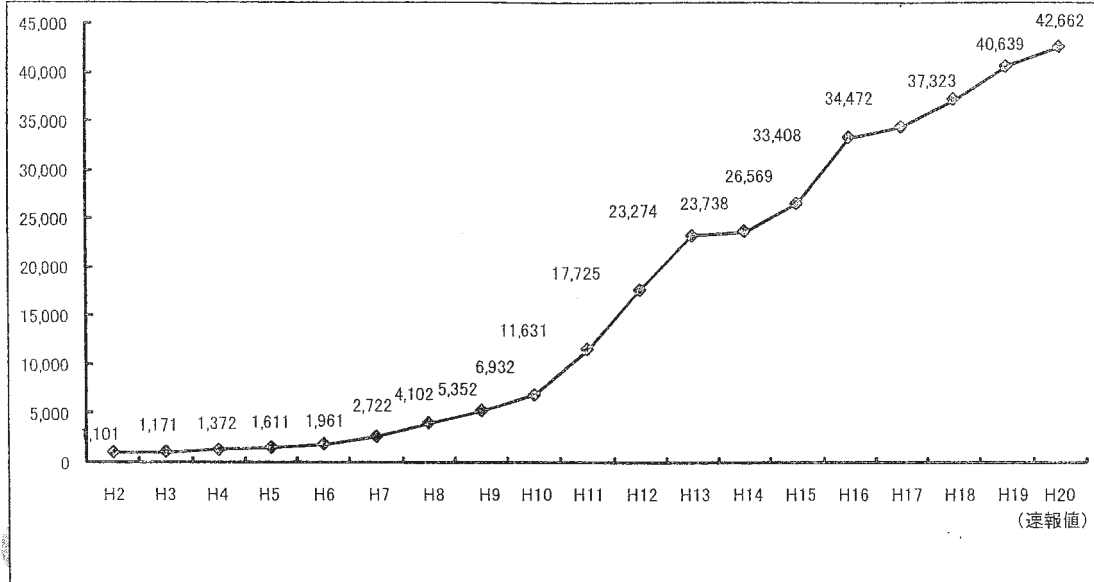


⇒当初は10か年計画であったが、計画期間を見直し、**4年延長(平成26年まで)**



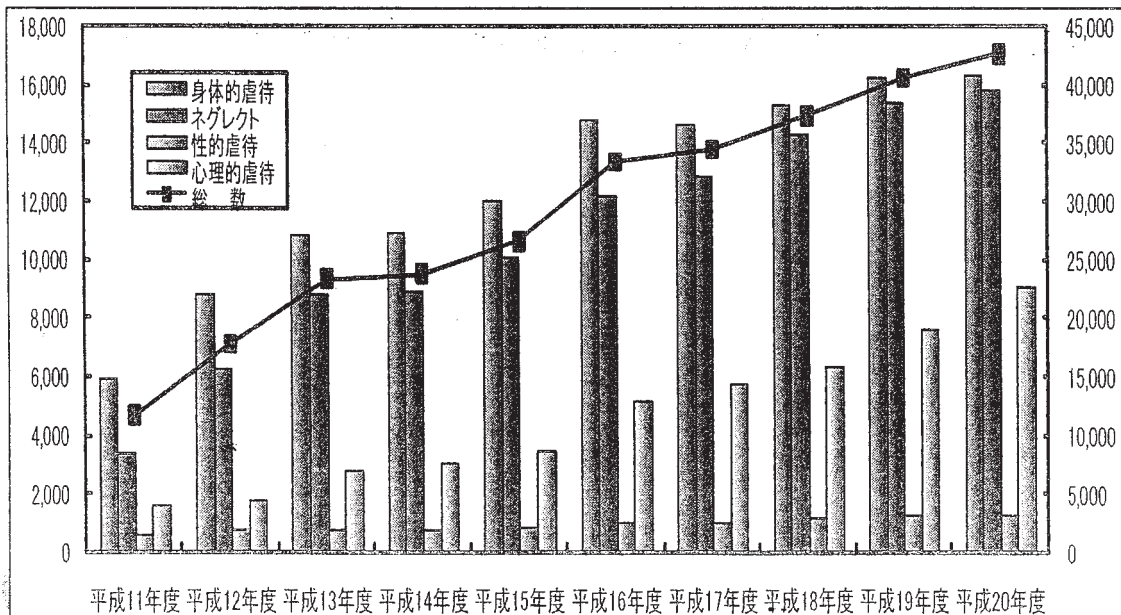
児童虐待相談対応件数の推移

○ 全国の子童相談所における児童虐待に関する相談件数は、児童虐待防止法施行前の平成11年度に比べ、平成20年度(速報値)においては3.7倍に増加。



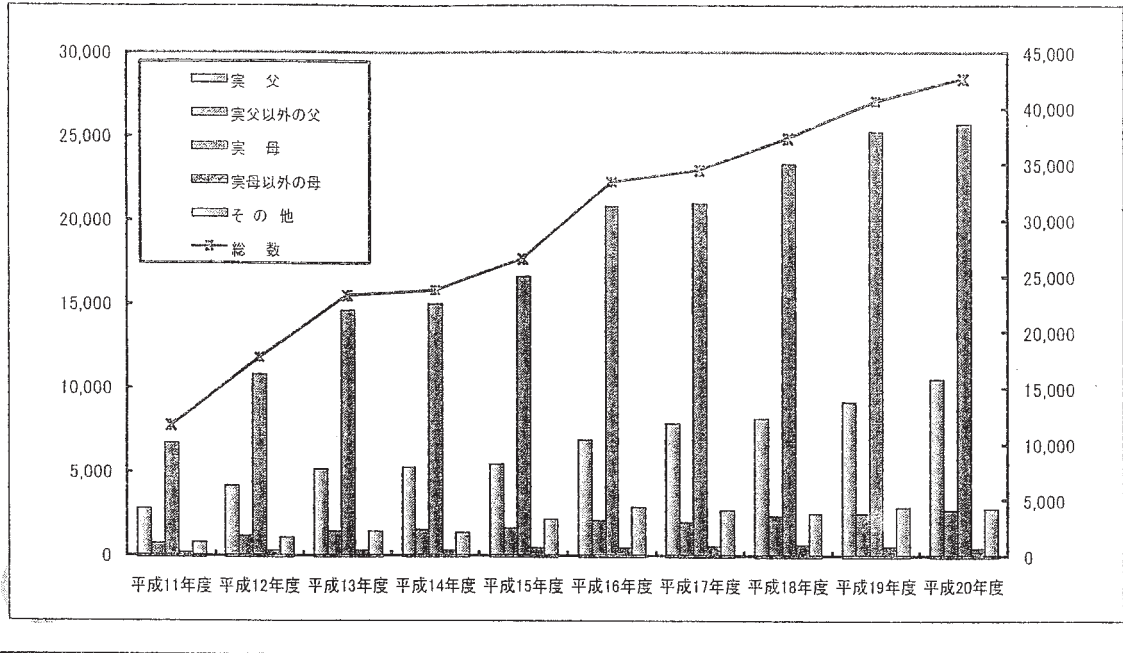
児童虐待の内容別相談件数の推移

○ 平成20年度においては、**身体的虐待が38.3%**で最も多く、次いで**ネグレクトが37.3%**となっている。



主たる虐待者の推移

○ 平成20年度においては、実母が60.5%と最も多く、次いで実父が24.9%となっている。



虐待を受けた子どもの年齢構成

○ 小学生が37.1%と最も多く、次いで3歳から学齢前児童が23.9%、0歳から3歳未満が18.1%である。なお、小学校入学前の子どもの合計は、42.0%となっており、高い割合を占めている。

